

事務事業名		子ども発達総合支援事業			会計	一般会計				
課等名		子育て支援課			事業種別	政策	開始	23	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり						
		施策	37	子どもを産み育てやすい環境の充実						
目的	対象(誰・何を)	18歳以下の児童			対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	発達に心配な子どもの支援を行なう。				18歳以下人口(各年4/1,住基+外登)			18110	
	向上させたい上位施策の成果指標	子育てしやすいまちだと感じている人の割合(%)								
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	幼稚園・保育所での発達に関する相談件数			550	543	500	450		
	成果指標	幼稚園・保育所での個別指導計画作成件数			43	24	41	41		
事業概要	定性目標									
	<p>新すくすくプラン後期計画・健康ケア計画重点プロジェクト新規事業</p> <p>(1) 発達に心配な児童を健診等で把握し、保育所・幼稚園・小中学校での発達支援を横断的に行うための仕組みづくり</p> <p>① 保育所・幼稚園で子どもの個別の指導計画による「発達支援プログラム」実施のための研修会の実施</p> <p>② 「発達支援プログラム」実施を支援するための保健・福祉・医療・教育専門職による巡回訪問支援体制の強化</p> <p>③ 健診方法及び保育所・幼稚園への情報伝達方法の検討</p> <p>(2) 発達に心配のある児童の情報共有による一体的な早期支援体制の構築</p> <p>① 家庭・保育所・幼稚園・小中学校の個別の指導を一貫して継続的に行うための情報の集約化と支援体制づくり</p> <p>(3) 医療・保健・福祉・教育による親子の支援体制の充実</p> <p>① 児童・家庭・教育相談などに、総合的に対応するための情報共有及び支援体制の一元化の検討</p>									
事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	1 発達支援研修会の開催				1 開催回数			1 23回		
	2 特別支援のための支援力アップ研修				2 参加者数			2 9人		
	3 保育所幼稚園での発達支援プログラムの実施				3 実施園数			3 20園		
	23年度、発達支援プログラムは市内の全保育所・幼稚園で実施 24年度は個別指導計画作成の巡回研修を10園に集中的に実施 4 小学校との連携体制の検討				4 情報交換会議回数			4 6回		
事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		9,316	11,461	10,138	12,000	(国)巡回支援専門員整備事業補助金(1/2)(企画課予算)				
国庫支出金		3,432			1,352					
県支出金										
起債										
その他		2,452	7,181	7,595						
一般財源		3,432	4,280	2,543	10,648					
人件費計(千円)②		0		11,086						
正規職員所要時間				3,100						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		9,316	11,461	21,224	12,000					
事業内容・目標達成状況の振り返り	個別の指導計画作成巡回研修については、95パーセント達成したので、25年度に残りの園を訪問し作成研修を実施する予定。 医療については、市立病院との連携を開始。保健は公私立の園と乳幼児健診の情報交換をしていくための体制作りの確認ができた。幼保小の連携は、幼保小中連携推進事業により共通理解が図れ、小学校教諭の研修会参加者が増加した。									
改革改善の考え方	①問題点	部局をまたいだ庁内の連絡調整や小学校との連携を図り、乳幼児期～学齢期の子どもへの途切れない発達支援についての情報の共有化や課題整理を行い、発達支援のしくみ作りに向けて検討・調整の在り方								
	②改革提案	関係機関が密接に連絡調整を図ることで支援体制の充実と効果的な実施に努めていく								